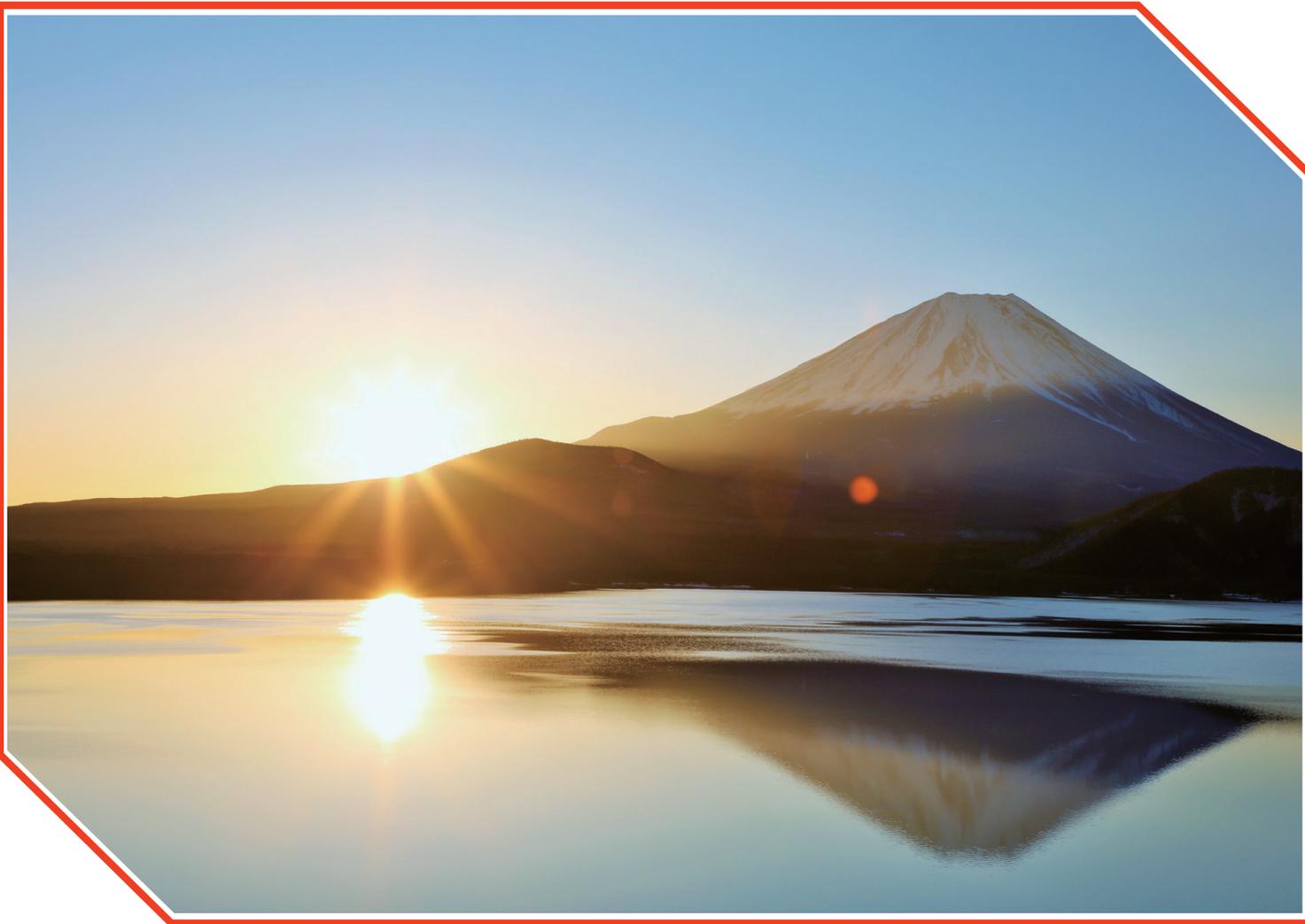


会報



再処理企業協議会

さいいくる



2025年 1月 第21号

2025年（令和7年）1月1日発行

発行：再処理企業協議会

発行責任者：事務局長 織笠 諭

〒039-3212 青森県上北郡六ヶ所村大字尾駁字

弥栄平1-5 再処理企業センター

TEL (0175) 71-2487

FAX (0175) 73-2075

URL <https://www.saisyori-kigyokyogikai.jp/>



会長挨拶



新年のご挨拶

再処理企業協議会 会長

東芝エネルギーシステムズ株式会社

六ヶ所再処理建設所

所長 中久木 功

新年明けましておめでとうございます。

2025年の始まりに際し、ご挨拶申し上げます。皆様健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。今年も私たちの再処理企業協議会が、協力企業の皆様と共に成長し、発展していくことを願っております。

旧年においては、再処理施設および廃棄物管理施設の新たなしゅん工目標が決定されました。我々再処理企業協議会としても新たな目標を達成すべく、現場の安全確保を最優先に事故・トラブルの防止に努めてまいりましょう。特に、計画段階で役割分担を明確にしたうえで作業前の環境確認・安全措置・隔離措置を確実に行うこと、作業時は手順書を遵守し、不安を感じたら必ず立ち止まること、やりづらい状況・悩み等があれば相談し改善を図っていく等を意識し、守っていきましょう。

皆様にご協力いただいた再処理企業協議会の活動について、研修部会では「現場指揮者ディスカッション教育」、「現場管理保全研修」の他、「入所時教育」、「現場指揮者教育」の開催と教育テキストの見直しを実施してきました。教育のアンケートでは概ね好評を戴きありがとうございます。理事会等でも、今後の教育内容の維持・アップデート、より多くの方が受講できる仕組みづくりなどを検討しています。

広報部会においては、「再処理構内見学会」、「ゴルフ大会」、「パターゴルフ大会」等のイベントを開催しました。多くの会員企業の皆様には参加、ご理解、ご協力を賜り、御礼申し上げます。今後は、ご要望もいただいている会員企業相互の一層のコミュニケーション強化推進にむけて、新たにボランティア活動等への参画他、検討を継続して進めていきますので、積極参加、ご意見・ご提案発信などをお願いいたします。

社会に目を向けますと、2024年には「GX（グリーントランスフォーメーション）」が進展し、カーボンニュートラルの実現に向けた取り組みが加速しました。また、エネルギー価格は依然として高止まりしており、これに対処するため、日本は再生可能エネルギーの導入や原子力の活用で、エネルギー自給率の向上を目指していくこと、さらには今後AI・データセンタ、半導体工場の産業用電力の増大が見込まれ、原子力活用拡大の重要性の議論が高まってきたと感じています。

そのような中で、我々原子力業界で働く者にとって、注目すべき出来事もありました。一つ目として、青森県内の「むつ中間貯蔵施設」の事業が開始しました。二つ目として、宮城県内の「女川原子力発電所2号機」が再稼働し、発電を再開しました。島根県の「島根原子力発電所2号機」も再稼働しました。これらの施設の事業開始は、我が国の原子力エネルギー政策上、大きな節目であり、重要な一歩です。原子燃料サイクルの中核を担う再処理工場のしゅん工にも一層の期待が向けられています。我々再処理企業協議会もその自負のもと、安全確保を優先に積極的な活動を意識してまいりましょう。

また、衆議院選挙、アメリカ大統領選挙等が行われ、世界中で様々な変化がありました。一部不安定さもありますが、一方で立ちはだかる課題に対し、政策などに対する多種多様な意見が突っ込んで交わされ始めてきて、国民の声がより一層反映される政治・社会の実現が期待されていることも感じています。我々再処理企業協議会も、同様に前向きかつ柔軟な意見交換につとめていきたいと思っております。

2025年は巳年、すなわち「へび年」です。巳年は、古来より神聖な生き物とされ、再生や誕生の象徴とされています。へびが脱皮することから、新しい始まりや変化を意味し、私たちにとっても新たな挑戦の年となるでしょう。さらに巳年は「実を結ぶ」年とも言われ、我々再処理企業が社会的責任を果たし、再処理工場と地域社会の発展に、柔軟性と創造性を持って寄与できるよう努めてまいりましょう。

最後に、日本原燃株式会社殿、再処理企業協議会ならびに参加企業の発展と、皆様が健やかに過ごされますことを祈念致しまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

副会長挨拶



再処理企業協議会 副会長

株式会社 ジェイテック

執行役員 四方山 敏彦

謹んで、新年のお喜びを申し上げます。

旧年中は、再処理企業協議会の諸活動を積極的に支援して頂き、厚くお礼申し上げます。

本年もさらに充実した事業計画の実践に努めて参りますとともに、13回目の春を迎える再処理企業協議会として理事会、技術研修部会、広報部会ならびに事務局ともども、一層のサービス向上に励み、会員企業間のコミュニケーションを高めていきたいと思っております。

さて、再処理工場の現状としては、昨年8月に新たなしゅん工目標が公表され、引き続き、電力、重電メーカーをはじめ産業界全体からの支援を受けながら、安全を最優先にオールジャパン体制で取り組んでいくことが宣言されています。最優先に掲げる安全の中でも、労働安全に関しては、地球温暖化に伴い年々夏場の平均気温が上昇する環境の中で、昨年は熱中症発症ゼロを達成しています。降雪期間の長い青森においては、年末年始を通した冬場の転倒災害ゼロもぜひ達成しましょう。

事業に直接携わっている我々協力企業も安全最優先をスローガンに、前述の労働災害ゼロは勿論のこと、原子力の3S (Safety: 原子力安全、Security: 核セキュリティ、Safeguards: 保障措置)も実現していきましょう。事業者である日本原燃株式会社殿は、保安規定に基づいて、施設の維持・操作や保安上の措置を講じており、会員企業としては日常の業務の中で継続的な安全向上への取り組みが期待されています。また、核燃料物質の盗取の防止、施設の妨害破壊行為を防止するための防護措置が講じられていることから、構内に立ち入る際のルールへの正確な理解が求められています。さらに、国やIAEAが行う保障措置検査や立入検査が適切に行われるよう対応・環境整備にも協力していく必要があります。

最後に、日本原燃株式会社殿、再処理企業協議会と会員企業皆様の発展と健康を心から祈念致しまして、新年の挨拶とさせていただきます。

副会長挨拶



再処理企業協議会 副会長

株式会社 東京エネシス

原子力本部 青森支社長 荒川 裕

あけましておめでとうございます。

再処理企業協議会会員企業ならびにその協力企業の皆様におかれましては、ご家族と共に清々しい新年を迎えられたこと、心よりお慶び申し上げます。

旧年中は、再処理企業協議会の各種事業へのご参加とご協力を賜り、誠にありがとうございました。本年も「安全を最優先」ならびに当協議会の基本的な理念である「再処理事業で求められる高い技術と品質の達成」「会員企業相互のコミュニケーション推進」に資する事業計画を実行してまいりますので、皆様には活発なご参加とご協力を下さいますよう、よろしくお祈りを申し上げます。

さて、昨年は皆様ご承知の通り、むつ市にある「リサイクル燃料備蓄センター」が使用済燃料キャスクを受け入れてして事業を開始しました。また、宮城県にある「女川原子力発電所2号機」が再稼働するなど原子力業界にとって明るい話題がございました。そして日本原燃株式会社殿は8月に再処理施設および廃棄物管理施設の新たなしゅん工目標を「2026年度中」と示され、私たち再処理企業協議会員が一丸となって目標の達成に向けてスタートを切りました。

この目標の達成には、労働災害を絶対に発生させないことが重要であると思います。ひとたび労働災害を発生させてしまうと先ずは当事者が痛い目に合ってしまうますが、これは絶対にあってはならないことだと思います。また、日頃から日本原燃株式会社殿の事業にご理解を示して下さっている地域の皆様の信用を失ってしまいます。さらには大勢の方々の労力を割くことになり、しゅん工目標への工程の進捗にも多大な影響を及ぼしてしまいます。

昨年発生した労働災害では「基本動作の徹底」や「ルール、手順の遵守」が疎かになったことにより発生させてしまった事案がありました。今年こそ基本に立ち返り、みんなが安心して働くことができる安全な職場にしていきたいと思います。そのために私たちは、核燃料サイクルを担う重要な事業に携わる者としての気概と矜持を持って、ひとりひとり丁寧に、ひとつひとつ確実に各々の業務を遂行してまいります。

最後に、再処理企業協議会会員企業ならびにその協力企業の益々のご発展と、皆様のご健勝・ご多幸を祈念いたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。

今年も、明るく! 楽しく! 元氣よく! そして、ご安全に!

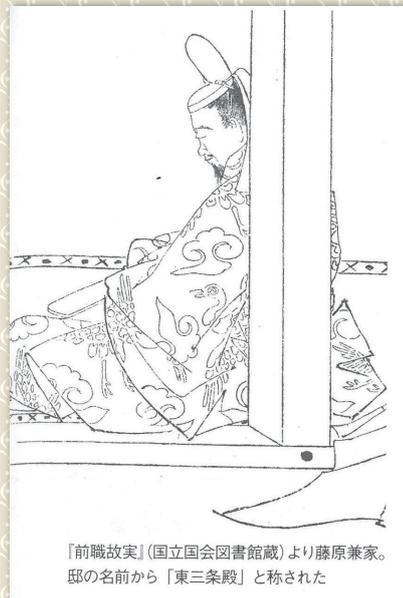
六ヶ所村「尾駁の牧」歴史研究会会長 相内 知昭

今回は、『後撰集』における「荒れゆく駒」を解説してみたい。まずは、この『後撰集』の「陸奥の尾駁の駒も野飼ふには荒れこそ勝れなつくものかは」(詠み人知らず)には、次のように、詞書(ことばがき)が添えられている「男の初め如何(いか)に思へる様にかありけむ、女の気色(けしき)も心解けぬを見て、(怪(あや)しく思はぬ様なること)と言ひ侍(はべ)りければ」と。*口語訳「男はどのように思いそめたのでしようか、女の心解けない様子を見て、何ともわけのわからぬこと」と、女に告げると、」それに対し女は、先の「尾駁の駒」の歌を贈ったのです。男の名前も女の名前も分ならず、ただ「詠み人知らず」とあるだけです。当村歴史フォーラム講師であった山口博先生は、『後撰集』の詠み人知らずの歌は、二種類あって、一つは伝承の古歌で本当に作者名が分からない歌。もう一つは、同時代の秘匿(ひとく)すべき事情ある歌や有名な恋歌などスキヤンダラスな歌の場合であるとして、尾駁の駒の歌は、伝承の古歌にしては作家事情が具体的過ぎるとし、また、伝承歌はエピソードの主人公に人々は関心をもつので、主人公の名が伝わらないというのも疑問であるので、この歌の作者は有名な人である可能性があり、その「男」とは藤原兼家で、歌の作者は兼家のもう一人の妻であった「蜻蛉(かげろう)日記」作者である、藤原道綱の母ではないかと推測している。

その「蜻蛉日記」を見ると、天曆8年(九五四)日記作者は兼家と結婚し、作者の父・藤原倫寧(ともやす)は間もなく陸奥守として下向している。そして、従五位上兵衛佐(ひょうえのすけ)兼少納言兼家が三〇歳、日記作者二三歳程の天徳2年(九五八)頃、二人の間で「陸奥(みちのく)歌枕、馬尽くし」の歌が贈答されている。「紙幅の関係から、歌は一部のみで、後は、口語訳だけを用いて解説してみたい」

まず先に、日記作者の兼家への薄情を恨(うら)んだ長歌があり、それに対して、兼家の返歌は、口語訳すると、「貴女は、今は私に逢うことをやめて、私ではなく別の男にすがればよいでしょう。私だつて石や木でないから、貴女を思う心はありますよ」と。それに対し、日記作者は、「手なすけることのできる飼い主である兼家様が見放したら、私は陸奥の馬屋から放たれた荒れ馬のように、今やこれが最後になるのでしょうか」と、作者自身も荒れ馬を認めたような返歌をし、そして兼家からはあの尾駁の駒を用いての「われがなお尾駁の駒の荒れはこそ懐くにつかぬ身とも知られめ」と「あの尾駁の駒のように荒れるから、私が手なすけようとしても懐いてくれない。貴女自身もそのことを知ってほしい」と切り返され、作者からは、「貴方は私のところへお出でになるのを嫌がつて、私を飼いならそうとなさいませんが、私はずうっと貴方を頼りにしてきたのです」とまた切り返し、兼家からは「白河の関のように私を拒んでいるから、馬が通れないように私は貴女のもとに行きづらくて多くの日数を過ごしたのです」と弁解のような返歌を贈っている。このところへ、先の『後撰集』の歌を挿入すると、「貴方は私を尾駁の駒とおっしゃるけれど、どのように大人しく上品な尾駁の駒も、野放しにすれば気性は荒くなり、なすきませんわよ」と…。

正しく、「ピッタリの歌ではありませんか!」と、山口先生はこの『後撰集』の歌は、日記作者が兼家に贈った歌のように思えてならないと指摘している。 それでは、次回も、乞う、ご期待…。



「前職故実」(国立国会図書館蔵)より藤原兼家。邸の名前から「東三条殿」と称された



右大将道綱母

第4回 各社対抗パターゴルフ大会

11月25～27日（昼休み休憩時）に、再処理企業センター（X15）B棟 1F事務局会議室において、第4回各社対抗パターゴルフ大会を開催致しました。今年もフルゲート：27チーム（81名）、ゴルフをされない方々も多数参加頂きました。優勝は昨年に続き株式会社関電工さんが連覇され、昼休みのひと時、皆さんホールに設置された減点エリアに悪戦苦闘されながらも大いに盛り上がり、リフレッシュして頂きました。

| 順位 | 会社名 | チーム名 | 得点 |
|-----|--------------------|-----------|-----|
| 優勝 | 株式会社 関電工 | 関電工A | 9 点 |
| 準優勝 | 日立GEニュークリアエナジー株式会社 | 日立第一選抜チーム | 5 点 |
| 第3位 | 三菱重工業株式会社 | 三菱重工AB棟 | 5 点 |

注：準優勝、第3位は同点でしたが、出場者の平均年齢によって順位付けを致しました。



【優勝チームコメント】

関電工の荻澤です。

この度は、第4回各社対抗パターゴルフ大会に参加させて頂き、ありがとうございました。昨年の優勝からメンバーを入れ替え大会に臨みましたが、未経験の若手が躍動したことで2度目の栄冠に辿り着きました。今後も再処理企業協議会様のレクリエーションに参加させて頂き、皆様と楽しいひと時を共有させて頂ければ幸いです。



防護服着脱装訓練(ポンプ保修編)

11月18日(月)株式会社ジェイテック技術・訓練センターにおいて、再処理企業協議会事業計画に基づく防護服着脱装訓練(ポンプ保修編)が開催された。訓練参加者4名が講師である株式会社ジェイテック殿の指導の下、放射線防護装備の着脱装の手順および防護服装備下でのポンプ分解・組立等の実技訓練を行い、トラブル防止や安全上の留意点を学びました。



キャンプでまったり(*´ω`)

株式会社ジェイテック 清水目 涼

ニチアスエンジニアリングサービス株式会社高屋敷様よりご指名を受けました、株式会社ジェイテックの清水目と申します。

私はキャンプをすることが好きでタイミングを見計らってはキャンプを致します。

キャンプの沼にはまってしまった理由が夜空を眺めながら焚火をし、まったりとした空間を楽しんでおります。

実際にそんなにロマンティストではありません・・・(笑)

しかしながら綺麗な景色とは思っております。

私はお酒が得意ではないので基本コーラでの焚火鑑賞となりますが最高のチル空間へなっております。

おしゃれなお酒と一緒に焚火を見ることができるようになったら大人になったと実感できると思う33歳です。

是非、キャンプ場にてお会いすることがあればコーラで乾杯しましょう！！

簡単ではありますが皆様のお時間を頂きご参照頂き誠に有難う御座います。

次は東邦テック株式会社 對馬様宜しくお願致します。



企業の壁を乗り越えた人と人とのつながり「輪」を紹介するページです。次はあなたかも...

個人的 冬のアクティビティ

再処理機器株式会社 小泉 遼

木内計測株式会社漆館様よりご指名いただきました、再処理機器株式会社の小泉と申します。

さて、今年度も本格的に冬が近づいてまいりましたね。青森での冬のアクティビティといえば、ウィンタースポーツや中にはキャンプ、ワカサギ釣り等で楽しめる方も多々おられるかと思えます。当方、基本的にインドアでひっそりと楽しむタイプですので、今回は個人的な冬のアクティビティということでご紹介させていただきます。(完全趣味のお話となり恐縮です。)

前置きとしまして、皆さまゲームは嗜まれますでしょうか？昨今では、「任天堂 switch」や「PlayStation5」等の各種ゲーム機の需要・普及も進みつつあり、ご家庭で1機持たれている方は多いような気がしております。かくいう私はというと、寒さが近づく毎に自宅から出ることも徐々に減り、前述の家庭用ゲーム機やスマホでのオンラインゲーム等を休日や帰宅後にマイペースに日々プレイしております。

しかし、最近ではスマホでのオンラインゲームがメインになりつつあり…というのもオンラインゲームでは直接の面識はなくとも多種多様のユーザーと交流を図れること、ゲームを通じて新たな知見に触れられるという側面もあり、また、これは稀なケースですが、海外の方と一緒にゲームをプレイするような機会や、それを通じて異文化交流することもあります。(そんな経験もあり現在は細々と独学で英語を勉強中です)

これから寒さも一段と増し、自宅で過ごされる方も多いかと思えますが、温かい飲み物と共にのんびりとゲームを楽しめるのはいかがでしょうか。

次は、むつ小川原燃興産株式会社戸田様よろしくお願致します。



競馬を通して

六ヶ所再処理メンテナンスサービス株式会社 蒔田 真吾

新菱冷熱工業株式会社砂津様よりご指名を受けました、六ヶ所再処理メンテナンスサービス株式会社の蒔田と申します。

私が今ハマっていることは、ズバリ競馬です。単純にギャンブルが好きというわけではなく、競馬には生産者さんの思い、オーナーの思い、調教師の思い、騎手(ジョッキー)の思い等、一頭一頭様々なドラマがあり、その背景を考えながら競馬を予想することにハマっています。

今回紹介したい一頭は、この馬です！東日本大震災から今年で13年となりますが、震災の年「絆」を合言葉に国民一丸で復興へ向かう中、「キズナ」と命名された馬がいました。

父ディーブインパクト、母キャットクイルという血統で、デビューから2連勝を挙げ、これからという時、パートナー(主戦騎手)の佐藤哲三騎手が落馬事故で重傷を負ってしまいました。その主戦騎手不在と困惑している中、白羽の矢が立ったのがキズナの父であるディーブインパクトの主戦騎手であった武豊騎手でした。

武豊騎手は落馬事故で大怪我を負い、不振に陥っていた中、キズナの手綱を握ることになった武騎手でしたが、2戦続けて結果がでず、毎日杯というレースをむかえます。このレースこそ3年前武騎手が落馬事故を起こし大怪我を負ったレースでした。このレースをキズナと制し復活を遂げた武騎手はその後、重賞を2連勝し日本ダービーへとむかうこととなります。

日本ダービーでは1番人気で迎えられたキズナは、レースでは最後方に近い位置から馬群の中を進み、直線では狭い場所を瞬時のタイミングで抜け出し、見事な勝利を収めました。武豊騎手にとってはキズナの父ディーブインパクト以来8年ぶりのダービー制覇でした。ゴール後には14万人近いファンの「ユタカ」コールが沸き起こり感動的なレースとなりました。また青嶋アナウンサーの実況も名実況なので機会がありましたらYouTube等で視聴してみてください。

今年度の競馬はまだまだ実施されていますので一度観戦してはいかがでしょうか。【馬券購入の際は、計画的に。】

次は、太平洋電業株式会社の佐藤様、宜しくお願致します。



玉と向き合う至福の時間

株式会社ジェイテック 市川 友博

株式会社青森クリエイティブの野坂さんよりご指名いただきました株式会社ジェイテックの市川と申します。

学生時代から続けている趣味のビリヤードについて紹介したいと思います。ビリヤードというと、「難しそう」「ルールがわからない」というイメージを持つかと思いますが、実はとても奥深く、頭の体操にもなる、誰でも楽しめるスポーツです。青森市に住んでいることから、休日はラウンドワンでビリヤードをやっています。

料金は良心的で、朝10時までに入場すれば夜12時までプレイ待ちが無ければドリンク飲み放題がついて1,000円程度で遊べます。

最初は玉を真つすぐ突くことも難しいですが、慣れてくれば穴に入れることが楽しくなります。

うまくなってくれば次の一手を考えたり、力加減や回転を調整したりする戦略性が楽しくなります。

すでに30年近くやっているの、数cmの精度で玉をコントロールする等自分自身に課題を与えながら取り組んでおり、おかげさまでこの店ならプロテスト合格できるレベルです。

一人で楽しむことが多いのですが、最近職場の同僚がビリヤードを始めて、少しずつ上達する感覚と一緒に感じられて

その成長していく姿を見るのが嬉しいです。有給推奨日等の平日に行くと定年を迎えたであろう方々がビリヤードを元気に楽しんでいる姿をよく見かけます。

季節を問わずにできますし、体への負担も少なめであることから老後もビリヤードを続けたいなと思っています。

いろんな方と楽しめればと思ってやっているので、興味のある方は始めてみてはいかがでしょうか。

いつか貴方と一緒に一球入魂の美学を共有できる日を楽しみにしています。

次は、むつ小川原燃興産株式会社の高橋さんにお願致します。





田中 佑介

スポーツ観る専から…

昨年は息子のサッカー観戦や念願だった甲子園での高校野球観戦、横浜スタジアムでのプロ野球観戦ができました。来年は(観る専)から(やる専)をテーマに、ゴルフの方も頑張りたいと思います!!



野田頭 甲児

真田丸

昨年 8 月中旬、息子の柔道全国大会の応援で長野県へ行って参りました。その際に戦国武将、真田氏の居城上田城へ!上田城は真田昌幸が二度にわたって徳川の軍を退けたことで日本中にその名を轟かせた城です。息子にも全国に名を轟かせる柔道家になって欲しいです。



矢島 健史

奉仕活動2024

昨年は、泊地区タタミ岩清掃奉仕活動や、たのしむべ!フェスティバルの準備等、たくさんの地域行事へ参加させていただきました。今年も積極的に参加し、様々な方と触れ合っていきたいです。



石川 浩

リスタート

昨年の4月に大泉建設に入社し、初めて経験する作業もあり不安や緊張がありましたが、数々の先輩方にわかりやすく指導して頂き、怪我や事故のない作業が出来、自分の経験も上がり充実した1年になりました。また地域のイベントの準備なども参加し、六ヶ所村の良いところも発見できました。

「2024年を振り返って」 さいくる de Talk

大泉建設株式会社



野坂 祐介

ダイエットに成功

昨年一年で 30 キロの減量に成功しました。ファスティングを取り入れ体内環境を改善し、体調も良くなったので今年は運動、筋トレを取り入れて 40 キロの減量目指します v(∩_∩)v 111



大森 省吾

DIY

昨年は物置小屋を DIY で製作したけど、思ったよりも材料費がかかってしまいました。イナバの物置を購入したほうが安かったかも... ?



市川 稜

大型バイク免許取得

昨年は大型バイクの運転免許を取得しました。スーパーカブをカスタムしてツーリングしました。今年はハーレーをかうので友達と遠くまでツーリングしたいです。



柏崎 孝

私の趣味

私は道の駅めぐりが趣味です。一番のおすすめは道の駅ではありませんが「ファームビレッジなんぶ」です。季節の果物がたくさんあり、地元の人が食べられないようなレアな食べ物に出会えるかも?



土橋 翔吾

笑

私事ですが昨年の 3 月に入社して、毎日笑顔の絶えない職場で楽しく仕事ができ公私共にとても充実することができました。今年も笑顔の絶えない素敵な毎日が続きますように (∞∞)>(<<∞∞)。♡♡



猪股 力

健康

年齢とともに身体が悲鳴をあげて健康に気を遣う年でした…

「元気があれば何でもできる!」を心掛け元気の源、健康を絶やさず再検ゼロの健康体を目指します。



再処理企業協議会 ホームページのご案内



再処理企業協議会では、ホームページを公開しております。当ホームページでは、設立趣意書、かわら版や会報等を紹介しております。また、会員限定のホームページもあり、入所時教育・現場指揮者教育の申込（教育予約システム改修により運用停止中）やお知らせなど多くの情報を確認できます。当協議会では、ホームページの改善やコンテンツの充実に努めてまいりますので、是非当ホームページをふるってご活用ください。

よろず相談窓口

再処理企業協議会では、協力会社の皆様のご意見、ご要望を受付しております。以下にて、ご連絡ください。なお、相談者のプライバシーにつきましては厳重に保護されますのでご安心ください。

●ホームページアドレス

<https://www.saisyori-kigyogyokikai.jp/>

●連絡先

TEL 0175-71-2487
FAX 0175-73-2075



～行事のお知らせ～

- 2月 各社対抗ダーツ大会
- 3月 品質保証活動に係る講習



事務局より

7月1日付で再処理企業協議会事務局を務めさせていただくことになりました種市勝と申します。これまで、経理部門にはじまり、監査部門、地域交流部門といった部署に携わってまいりました。

記憶に新しいところでは、近年のコロナ過により、会員相互のコミュニケーションなどの活動も自粛を余儀なくされた大変な時期もありました。このことから再処理企業協議会発展のために、引き続き皆さまのご指導を賜りながら元気に努めてさせていただきますと思います。

再処理企業協議会は、今年で13年目となります。これまでの歴史を踏まえ、会員皆様の温かいご支援・ご協力に感謝し、事業活動を進めていきたいと思っております。皆さまの積極的な参加をお願いいたします。

最後になりますが、会員およびご家族の皆さまのご健康とご多幸をお祈り申し上げます。挨拶とさせていただきます。ご安全に。

編集担当者より



再処理機器(株)
井尻 貴紀

新年あけましておめでとうございます。昨年5月に広報部会長を拝命し、なにかと不慣れな中、再処理企業協議会会員企業の皆様のご支援を賜り、部会活動に取組めましたこと厚く御礼申し上げます。今年の干支「巳」は、「漢書律曆志」によれば、草木の成長が極限に達して、次の生命が宿され始める時期と解釈されるそうです。また「巳」を「実」にかけて「実を結ぶ」年とも言われ、積み重ねてきた努力が芽を吹き、「氣」に極限まで伸びるような勢いのある年になります。再処理企業協議会会員企業の皆様の益々のご発展を心よりお祈り申し上げます。



ATOM Works (株)
宮田 和俊

あけましておめでとうございます。皆様には健康やかな新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。広報部会活動は今年で5年目となりますが、引き続き再処理工場のしゅん工と安定操業に向け会員企業の皆様と力を合わせ活動していきたいと考えております。会員の皆さまのご健康とご活躍を祈念いたします。



大泉建設(株)
小泉 友春

新年あけましておめでとうございます。昨年は大変お世話になりました。本年も変わらぬご支援のほど、よろしくお願い申し上げます。2025年己巳(きのとみ)は「努力を重ね、物事を安定させていく」という意味合いを持つ年とされています。努力や準備が実を結び始める時期、辛抱強さが試される年にもなります。すべに結果が出なくとも、自分のペースで粘り強く取り組み姿勢で取り組んでまいります。皆様におかれましても、ますますのご活躍お祈り申し上げます。